

総合ガイド

計算（分解）

計算（分解）は、引き算です。

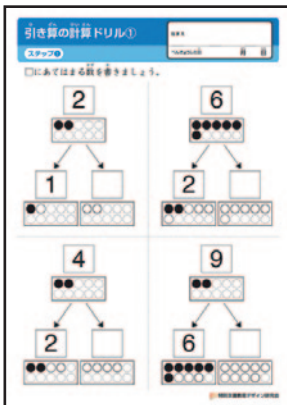
引き算は10を超えるか超えないかで、難易度が大きく変わります。子どものつまずきも同じように変わります。

子どもにあった教材の呈示

はじめに、繰り下がりのない計算をして、次に繰り下がりありの計算をします。同時にすることで混乱を招き、できなかったことで子どもの意欲をなくしてしまいます。一つひとつ理解し積み上げていく学習は、算数課題の必要な指導方法です。また、子どもに合わせた教材を呈示し内容を理解することで子どもは達成感を持ち、自信を持つことができます。焦らずスモールステップで取り組み、一つできたら「すごい！」と褒めてあげましょう。

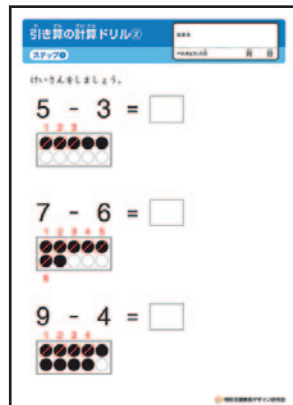
繰り下がりのない問題

10までの、繰り下がりのない問題です。



▲プリント教材

「引き算の計算ドリル1」



▲プリント教材

「引き算の計算ドリル2」

ドットで手がかり

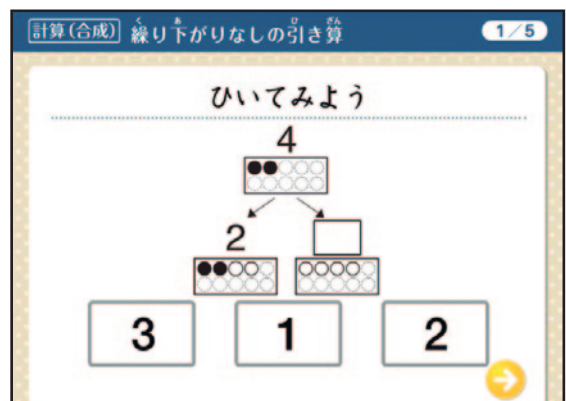
数字に対応したドットがヒントとして表示されています。それを手がかりに計算をします。

- ・引き算の計算ドリル1：練習ドリル（プリント）
- ・引き算の計算ドリル2：練習ドリル（プリント）
- ・ドットで計算（引き算）1：教材が作成できる
- ・繰り下がりのないの足し算：WEBで自学自習ができる



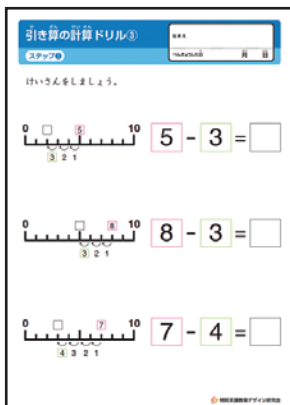
▲プリント教材／可変プリント

「ドットで計算（引き算）1」



▲WEBコンテンツ

「繰り下がりのないの引き算」



数直線で手がかり

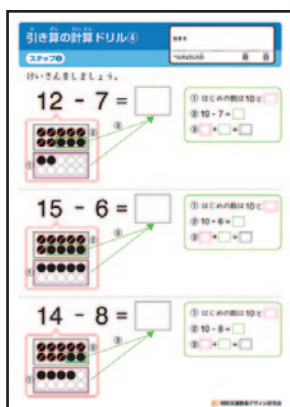
数字に対応した数直線がヒントとして表示されています。それを手がかりに計算をします。

- ・引き算の計算ドリル3：練習ドリル（プリント）

▲プリント教材
「引き算の計算ドリル3」

繰り下がりありの問題

10以上の、繰り下がりありの問題です。



ドットで手がかり

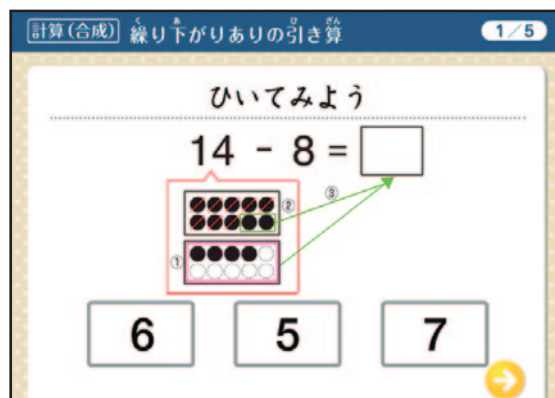
数字に対応したドットがヒントとして表示されています。それを手がかりに計算をします。

- ・足し算の計算ドリル4：練習ドリル（プリント）
- ・ドットで計算（引き算）2：教材が作成できる
- ・繰り下がりありの引き算：WEBで自学自習ができる

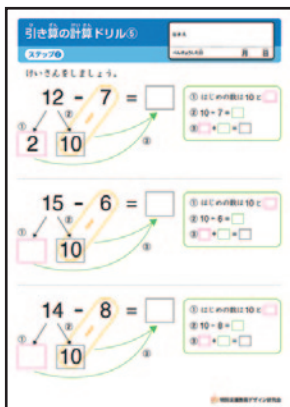
▲プリント教材
「引き算の計算ドリル4」



▲プリント教材／可変プリント
「ドットで計算（引き算）2」



▲WEBコンテンツ
「繰り下がりありの引き算」



考え方の手がかかり

10を基準にした計算方法がヒントとして表示されています。それを手がかかりに計算をします。

- ・引き算の計算ドリル5：練習ドリル（プリント）

▲プリント教材
「引き算の計算ドリル5」

引き算の練習

引き算の表です。誰が一番早く完成できるかゲーム感覚で学習できます。



計算ボード

計算ボードが作成できます。

中心と周りの数字を入力し、外側に答えを書く計算ボードです。1000までの数が入力できます。

▲プリント教材／可変プリント
「引き算の練習1」